

今昔物語

写真で振り返る

その46

井田村役場

井田地区



昭和28年

提供：南弘文氏



現在

今回は、昭和28年に撮影された「井田村役場」の写真をご紹介します。

この写真を見ると、建物の向こうには松林が見えており、写真を撮影された南弘文さんにお話を伺うと、松林の向こうには海岸線が広がっていたとのこと、井田村役場は熊野灘を背に建っていたそうです。

また、役場の前には、麦畑が広がっており、写真ではわかりませんが、麦畑と役場の間を現在の旧国道が通り、役場の隣には診療所があったそうです。

写真が撮られた翌年の昭和29年10月31日には、井田村、御船村、相野谷村が合併し、紀宝町が誕生しました。

そして、合併後、昭和34年に井田村役場を改修して、井田保育所が建てられ、昭和46年には井田老人憩いの家となり、平成5年に、現在の鉄骨造り2階建ての井田公民館が建てられました。

昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。

本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

つむぎ屋

メガネの話

今回は、僕にとつての生活必需品であるメガネの話をしたいと思います。先日、長年愛用していたメガネを折ってしまつたという、僕にとつて悲しい出来事がありました。

そのときのことを少し振り返ると、急いでいたせいか、ドアレバーを引いたつもりが開かず、ドアに激突してしまい、その衝撃でメガネが行方不明に…。約10分ほど探し、ようやく見つけるとメガネの左側のフレームが折れていました。幸いその日は休日だったので、すぐにメガネ屋に行き、新調することができました。

今思うと、その日に広報の取材が入っていきなれて、ホッとしたのと同時に、予備のメガネの重要性を今さら知りました。（命の次に大事なものはメガネ 田中健太郎）

早くも3か月が経過

私が広報を担当させてもらうようになって、3か月が経ちます。町で「毎月見てるよ」などと声をかけていただく機会も増え、毎度うれしい気持ちになると同時に、「広報きほう」がたくさんの人に読まれていくことを感じています。町外の友人からも連絡があり、どこで見たのかと聞いてみると、なんとご家族の方が写真を送ってくれたのだとか…（泣）ありがとうございます。みなさんの応援が力になってます。

ホームページにも約10年分の「広報きほう」が載っているの、時間があるときにでものぞいてみてください。振り返ってみると新たな発見や忘れかけていた思い出に出会えるかもしれません！

（ほめられて伸びるタイプ 大森菜央）



広報担当 大森菜央



広報担当 田中健太郎